

# 舞鶴市議会 活動報告

- 地震を想定した避難訓練
- 大雨を想定した情報伝達訓練

## 舞鶴市議会 防災訓練 実施日：令和4年1月17日

【訓練目的】 今回は2部構成で実施

舞鶴市議会では、いつ何時見舞われるか分からない**災害**に対し、**人命の尊重を第一に**、議会参集者の**安全・確実な避難方法等を確認**することと、**迅速かつ正確な情報伝達方法を確認**することを目的に、防災訓練を実施

\*避難訓練は、前回本会議、今回は委員会を想定して実施

《第1部》 **地震発生時の市役所会議室内からの避難訓練**  
迅速かつ安全な避難方法の検証

《第2部》 **大雨災害時の安否確認及び被害情報伝達訓練**  
災害時における情報伝達方法の検証

訓練用 議会運営委員会開催



**地震発生** 揺れ中は机下に避難



頭を防御し会議室から移動



負傷者の手助け



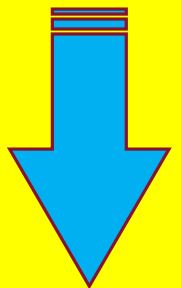
# 舞鶴市議会 防災訓練 実施日：令和4年1月17日

## 【第一部】 地震発生時本庁会議室内からの避難訓練

《発災想定》 京都府北部に震度6強の地震が発生

議会では？ 市役所4階議員協議会室内（議会運営委員会開催中）

- 行動は？
- ①地震発生 揺れが収まるまで机の下に避難
  - ②議会運営委員会委員長の指示により4階ロビーに集合
  - ③議員・市職員・傍聴者の人数確認（各部屋・火元確認）
  - ④指揮権を議長に変更、避難可能経路を確認後屋外へ避難
  - ⑤屋外集合場所での人数確認（逃げ遅れの確認）



4階ロビーで指揮権交代



負傷者と避難



屋外へ避難



最終点呼

舞鶴市議会 防災訓練 実施日：令和4年1月17日

【第2部】 大雨災害時の安否確認及び被害情報伝達訓練

《発災想定》 大雨により市内各地で被害が発生

《訓練内容》 議員は大雨により市役所へ出勤できず地元で対応

- ①議会事務局がグループウェアに議員の安否を確認するための掲示板と、災害情報を共有するための掲示板を設置し、その旨を全議員にメールで連絡
- ②議員は、メール確認後、掲示板に安否を書き込み、議会事務局が全議員の安否を把握して議長に報告
- ③議員は、地元被害を想定し、実際の現場でスマホ等を使用して被害の状況・位置図・写真・連絡先を掲示板に書き込み
- ④議会事務局は各議員の情報を市の災害対策本部へ紙資料で報告
- ⑤議会本部会議をオンラインで開催

議会本部会議の様相（出席者以外の議員）はYouTubeで視聴

議員の安否確認



被害情報の共有



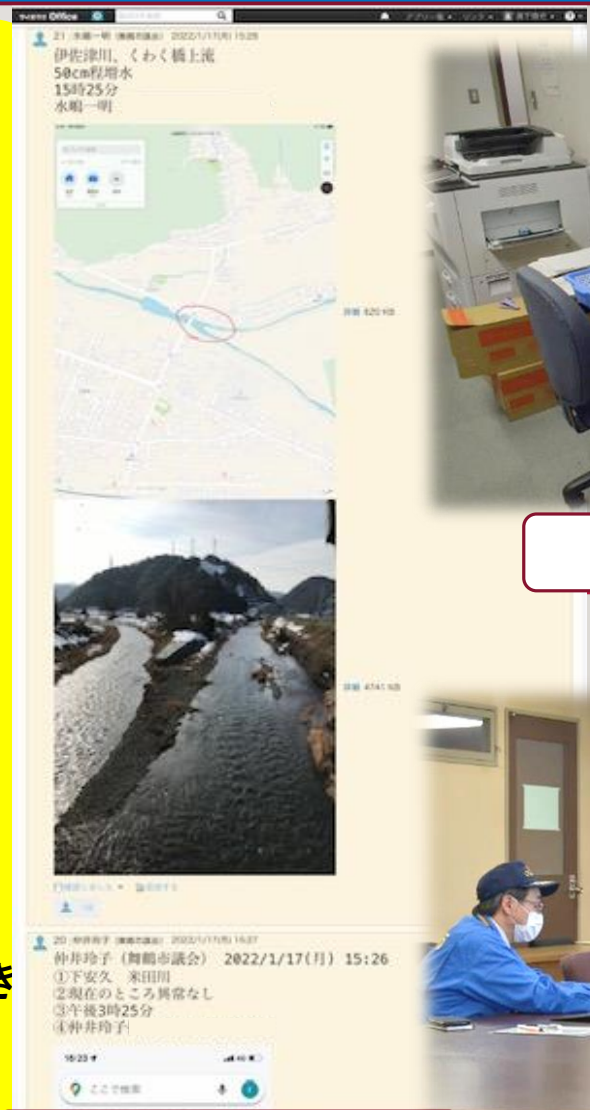
# 舞鶴市議会 防災訓練 実施日：令和4年1月17日

## 【訓練実施後の議員の所感・意見】 寄せられた一部を掲載

- ◆ 昨年と比較し行動・スピード等は**格段に上昇し真剣に取り組めた**
- ◆ 避難訓練を市議会が行うことは**市民への啓発にもつながる**
- ◆ 4階のシューター・梯子等今後も**様々な想定と手段**で訓練をすべき
- ◆ 逃げ遅れ・火元確認は議員も行い**ダブルチェック**すべき
- ◆ 4階の避難は下層の避難状況に左右されるため**複合的な想定**も必要
- ◆ 庁舎内の**避難備品が不足**しているため検討が必要
- ◆ 安否確認では**ネット環境**になければどうするか検討が必要
- ◆ 情報伝達では**練習を繰り返し行い熟練度を上げる**ことが重要

## 【議会事務局の実績報告と所感】

- ◆ 避難訓練では**委員長の補佐**や傍聴者・執行機関の**避難誘導**を実施
- ◆ 逃げ遅れ・火元確認を全て行ったが今後は**チェック資料を用意**すべき
- ◆ 情報伝達ではデータから紙媒体へ変更したが概ね**対応可能**
- ◆ 前回と比較し議員からの問い合わせもなく事務作業に集中できた
- ◆ 今回は事務局職員数を少なく設定し行ったが**対応可能**であった



議員から情報提供



被害情報事務処理



オンライン議会本部会議